

時間の有効活用がストレスを減らす

『タイムシフティング』

マシンを替えたら処理速度が向上した。しばらくすると、それでも遅く感じるようになり、処理の遅さにイラ立ちを感じる。この繰り返しはいつまで経っても終わらない。パソコンユーザーが抱えている宿命の悩みである。この悩みはパソコンだけの問題ではなく、似たような問題は、身近にいくつも転がっている。出勤途中で巻き込まれた渋滞にイラ立つこと。急にスケジュールが空いても、あたふたと新たなスケジュールを詰め込む。旅行で素晴らしい風景を前に

して「眺めよう、感じよう、感動を残そう」とする前に忙しくカメラのシャッターを切って満足する人。そんな状況になると「あぁ1日が48時間あればいいのになぁ」と考えてしまう。そこで発生するストレスを根本的に解消できなくて、スポーツに打ち込んだり、酒に溺れたりしても結局は変わらないことに気づいている。本書は、発想を変えることでストレスをなくすことを目指している。「病院で診

察待ちをしていてなかなか順番が回ってこないとき、どのように気持ちを切り替えるか」など、内容も身近なものが多く、読みながら実践することも難しくない。実際、面白がってやってみると驚くほどにストレスは低減する。いつも「時間がない」とボヤきながらストレスを感じている人には、格好の治療薬となるであろう。



ステファン・レクトシャッフエン 著
高瀬素子 訳
NHK出版 発行
本体1800円+税
412ページ
ISBN4-14-080310-X



時間と情報の使い方

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

SOHOを始める前に読みたい

『本気ではじめる パソコン在宅ワーク術』

本格的に在宅勤務を始めようとする、どうしていいかわか



山口ゆみ著
双葉社 発行
本体1400円+税
217ページ
ISBN4-575-28696-6

らなくて暗中模索に陥る。会社勤務から抜け出すのは、並大抵のことではない(らしい)。本書は、パソコンを使った在宅勤務を一から始めるためのガイドブックだ。いきなり「パソコンを揃えよう」から話を展開するのは無謀だが、在宅勤務のできる仕事の紹介、それらの仕事手順、営業方法など

在宅勤務の実例を交えながら順を追って説明され、読みやすい。本書は、パソコンを武器に在宅で仕事をする在宅ワーカーになるにはどうしたらいいのかという問題が中心で、SOHO環境やネットワーク技術云々についてはあまり触れていないので、このへんで悩んでいる人には不向きだろう。SOHOといえば先端的に聞こえるが、個人または零細企業の数も多く、営業も自分でこなさなければならない宿命を負っている。営業と縁がなかった技術者にとっては、越えなければいけない壁は多い。SOHOの経験談をただかき集めたのではなく、どうすればいいのかをまとめ上げたハウツー本なので、内気な技術者にとっても実用的だろう。著者もSOHO実践者のため内容も現実的で、特に後半の営業の進め方のアドバイスでは、目から鱗がポロリとくるかもしれない。

奥さん、彼女に読ませたい

『シンデレラの パソコン「超」活用法』

女性はもっとパソコンを使ったほうがいいと思う。最近のパソコンは機械というより家電的になっているから、以前よりずっと使いやすい。電話やPHS、ボケベルを使いこなし、そのワザを駆使する様は、頭の堅いオジサマを凌駕する。インターネットでのビジネスマーケティングでもこれからの動向を占う重要なキーポイントは女性層なのだ。本書は、あの『「超」整理法』の著者が女性のために書いたパソコン本だ。雑誌『フラウ』に連載された「シンデレラのパソコン」をまとめ直したものだ。もちろん、ただの入門書ではない。入門書にありがちな「パソコンを買ったらしてみよう」的なアオリはなく、実践的なアドバイスに徹して

いる。内容的に、男女の別はないので、男性初心者も安心して読める。パソコンを選ぶ、使い始める、パソコン通信の楽しみ、インターネットの楽しみ、在宅勤務への誘いと速いテンポで進んでいくため、細かいところは端折ってあるが、押さえるべきポイントは太字で書いてあるので、ポイントを注意していれば内容は理解できる。これはパソコンユーザーになるための広域なガイドマップであり、途中で詳しい情報が必要になったら詳細なマップ(個別の入門書)を見ればよい。



野口悠紀雄 著
講談社 発行
本体1500円+税
284ページ
ISBN4-06-208618-2

SOHO、OCN時代のサーバー構築術

『インターネットサーバーを自分で作る本』

この本では、SOHOのネットワーク構築を考えるうえで、しばしば問題になる各種サーバーのインストールを詳しく解説している。スモールオフィスをインターネットに接続しようとするときに、まず電子メールサーバー、DNSサーバー、WWWサーバーを自ら用意するかプロバイダーからレンタルしてもらうかを判断することはよくある。面倒なのは自前で用意することに決めたときだ。今まで使ったことのあるコンピュータはウィンドウズだけ、しかもネットワークも始めたばかりというユーザーなら、ま

ったくお手上げ状態になるだろう。そこで役立つのが本書だ。人気の超簡単アプリケーション入門書並みに画面ダンプを順を追って掲載しながら、インストールを進めていく。利用ソフトはウィンドウズNT4.0とそこに含まれるインターネットインフォメーションサーバー2.0およびフリーウェアのEMWAC Internet Mail Services for WindowsNTを使う。環境としては標準的なものなので、始めてみるにはちょうどよいだろう。ただし、インストール作業を順序立てて説明することに終始してしまい、効率のよいサーバーを構築する設定のポイント、カスタマイズのアドバイスなどがなし、とりあえず始めるときの一冊として割り切ろう。



秋本芳伸、岡田泰子 著
サイブス発行
本体2400円+税
240ページ
ISBN4-916089-08-1



宣伝会議6月増刊号
宣伝会議発行
本体1333円+税
191ページ

インターネット時代の広告手法

『インターネット広告・マーケ・PR』

以前読んだ本で、狩猟のコツを尋ねられた名人が、草原を疾走する動物の群れを塊としてとらえず、一体一体の動きをとらえ、その目標めがけて矢を放つというのを思い出した。「下手な鉄砲数撃ちや当たらないそうである。広告もそのようなものようだ。対象を絞りぬき、戦略的に追い込み、目標めがけて「情報」という矢を放ったときに狙った顧客をつかめる。一方、インターネットの世界では、顧客となる人々が自発的に情報を探し求めて歩く。そこで行われる広告、マーケティング、PR

に用いられる戦略は、今まで手法とは異なるようだ。広告代理店は新たに部署を作り、インターネット時代のビジネスを模索している。その途中経過がこの本である。ここでしばしば現れるキーワード「One to One マーケティング/メディア」は、情報発信側と受け手側の1対1の密なコミュニケーションがあたり立つものだと思うので、インターネットは格好の媒体かもしれない。うまく使えば、常に「今ほしいと思った情報」をお互いに送受信できる環境が構築できるだろう。ただ、意図しない結果を生むと、過剰な情報がインターネットを押しつぶすかもしれない。

インターネットスーパースター列伝

『インターネット激動の1000日』上・下巻

インターネットの急速な広がりを導ききっかけとなった「キラーアプリケーション」のWWWブラウザ。本書は、インターネットの爆発を原点とした1000日間の激動を、WWW環境を作り上げていった人々のレポートで綴った本だ。上巻では、「ネットスケープ」のマーク・アンドリーセン、「リアルオーディオ」のロブ・グレイザー、「JAVA」や「カスネット」のキム・ポレ

ーゼー、「VRML」のマーク・ベッシンが取り上げられ、技術的發展を支えたエンジニアに焦点を当てている。下巻では、「アイプロ」のエリアル・ポラー、「ヤフー」のジェリー・ヤン、「ホットワイアード」のアンドリュー・アンカー、「CNET」のホールシ・マイナーといったWWWでの検索サービス、コンテンツ提供などの情報を扱う事業のバイオニアたちを主役にしている。いずれもホットなテーマを扱っているため、最新のキーワードがちりばめられ、開発の裏話



ロバート・リード著
山岡洋一 訳
日経BP社発行
本体1500円+税(上・下巻とも)
330ページ(上)、309ページ(下)
ISBN4-8222-4074-6(上)
ISBN4-8222-4075-4(下)

や苦労話を読みながら、新しい知識を身につけることもできるだろう。各章を読んでいて、その頃(といっても1、2年前に過ぎないが)の背景全体がわからなくなったときは、下巻の背景解説が役に立つ。解説だけで70ページも割いているが、その内容はコンパクトにまとまっている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp